

Q 子供の医療費無料化を高校生まで拡充を

A 他市の例も参考に検討していきたい。

高草木 良江

問 産後ケア事業の充実では、県内で館林市や桐生市で訪問型の産後ケアを取り入れたが本市の見解は。

保健福祉部長 渋川市も今年度から実施しているので、研究させていただきたい。

問 子供医療費無料化を高校生まで拡充していただきたい。せめて入院費や通院費の助成をとの声もあるが。

市長 少子化対策や子育て支援の観点から有意義な施策であると認識をしている。

今後、財源確保の精査するほか、入院や通院、所得制限を設けるなど、経済的な負担を軽減する支援も視野に入れ、様々なパターンの医療費助成について、他市の例も参考に検討し

ていきたい。

問 以前にも、みどり市全体の学校規模の適正配置に取り組むべきと訴えたが未だに進展がないが現状は。

教育部長 今、検討に必要な基礎資料の整理や組織のあり方、検討内容等について進めている。来年度には検討委員会を設置して、円滑に検討できるように準備を進めていきたい。

問 本市の公園整備推進の中で、障害のある子どもない子ども一緒に遊ぶことができるインクルーシブ公園の整備についての見解は。

都市建設部長 誰もが分け隔てなく、一緒に遊べるユニバーサルデザインや、バリアフリーの概念が取り入れられている。今後、重要なコンセプトになると思うので研究していきたい。

問 子育て世代のお母さん達から、子供が遊

べる遊具のある公園や、屋内で遊べる場所が欲しいとの要望を聞くが市長の考えは。

市長 インクルーシブ公園は、子供が人の多様性を自然に理解することができ、共に生きる心が育つと期待できる貴重な場となる。

まちづくりと合わせたポケットパーク化の推進や、新たな公園整備の活用へも視野に入れながら安心して利用できる環境を整えていきたい。また、ボートレース場のパーク化も公約に掲げており、ファミリー層や若者が訪れる体験型施設のほか、様々な子供たちが分け隔てなく遊べる遊具も取り入れて、遊ぶことで生きる力を育めるような施設も検討していきたい。